

## 令和6年度 第4回（第21回） 鎌倉市市民活動推進委員会 議事録概要版

- 日時 令和7年（2025年）3月6日（木） 18:00～19:15
- 場所 鎌倉市役所本庁舎 講堂
- 出席委員 土屋副委員長、東樹委員、曾根委員、中井委員、水澤委員、山口委員、加茂委員（以上委員7名出席）
- 事務局 市民防災部：瀧澤次長、下田係長、本多、奈木
- 傍聴者 なし

### 【1 議題】

#### (1) 「市民活動と協働を推進するための指針」の更新について

事務局から、指針の更新に関する過去の議論内容及び今後の方向性（個別計画の策定を前提とした指針更新、素案、スケジュール）について説明。

#### ✚ （主な意見）

- ・市民活動コーディネーターの配置からアンケート実施まで時間があまりないので内容を検討する必要があるが、コーディネーターに関して何かしらの設問を含めたほうがいい。
- ・市民や団体が求めるものを回答できるような設問はどうか
- ・アンケートに時間の要素を盛り込むのはどうか。（協働が決まるまでに時間がかかるか等）
- ・項目数が多くなると回答率は下がる。
- ・協働についてどう考えているかという視点ではなく、自分がどういう立ち位置でまちづくりにかかわりたいのかを聞いてもいいのでは。
- ・選択肢の設問のほかに、その他で自由記述欄を設けたい。
- ・アンケート結果について、団体にとって今後の参考にできるよう、活用方法を検討してから設問を考えた方がいいのでは。
- ・若い世代にも回答してもらえるように設問・回答方法を検討する必要がある。
- ・今回、一般の方も対象とするということだが、設問項目が活動者向けとなっているので、対象者によってアンケートを2パターン作成するか、枝分かれにするか検討する必要がある。
- ・「2 協働についてお伺いします」について、自分の団体について答えるのか、一般的な意見として答えるのか、回答者の立場を明記したほうがいい。

#### └ （事務局）

- ・前回調査と比較するため、「1 市民活動についてお伺いします」「2 協働についてお伺いします」については大幅な変更を加えない方向で考えたい。主に「3 市民活動及び協働の推進に関する具体的な政策に関して」について、今後、意見を伺いたい。
- ・設問数は、基本目標1の「1-1」について1問、「1-2」について1問、という形で全体を10問程度に抑えた上で、自由記述欄を設けたい。
- ・現在の施策が本当に求められているのか確かめたいという意図もある。
- ・アンケートの素案を事務局で作成し、令和7年度第1回推進委員会で議論いただきたい。

## 【2 報告事項】

- (1) 令和7年度つながる鎌倉エール事業選考部会の日程について  
令和6年度事業報告会及び各コースの選考部会の日程について報告。
- (2) 職員協働研修の報告  
各研修のアンケート結果について報告

- ✚ 業務負担の先に、メリットがあるという事例を体験者から受講者に話してほしい
- ✚ 推進委員会やエール事業審査選考部会の場に職員が見に来ることはできないか
  - ↳ (事務局) 研修内容の一部に盛り込むことは出来るかもしれないが、業務としては位置づけられないので難しい。
- ✚ 協働に関心をもたせるために研修課題を「協働」として実施することは可能か。  
研修を受講後に、協働のプランを一つ出す、というのはどうか
  - ↳ (事務局) 研修内容は柔軟にできる。実際に講義研修でのグループワークでも協働をテーマとして取り組んでいる。研修は回数が増えると負担感が多くなってしまうのでバランスを考えながら企画する必要がある。
- ✚ 報告会に管理職（実施した事業を所管する部長・次長）に出席してもらうのはどうか。
- ✚ 協働の成功例・失敗例について、研修で紹介するのは先進的では。特に失敗例には共通点があるので学びになると思われる。

以上